

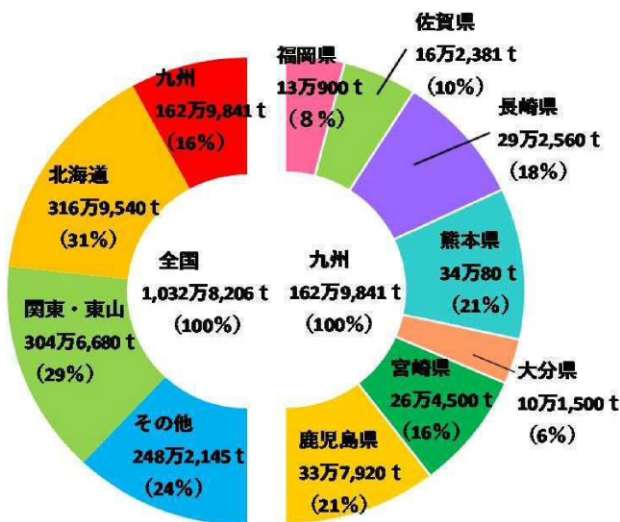
【九州は重要な野菜供給基地】

九州では、温暖な気候を生かした野菜の栽培が盛んです。令和2(2020)年産の九州における指定野菜(14品目*)の収穫量は、ピーマン、トマト等の施設野菜やさといも、だいこん等の露地野菜を中心に全国の15.8%、野菜の産出額では全国の19.3%を占めています。九州の産出額に占める野菜の割合は24.9%で、畜産の46.8%に次ぐ重要な品目となっています。

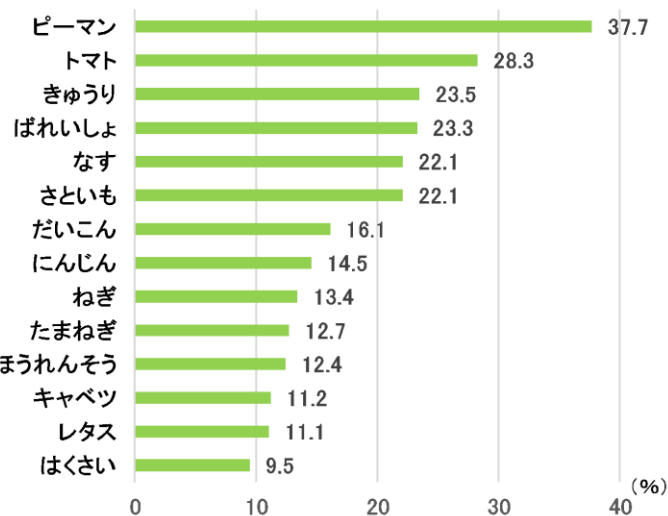
産出額で全国に占める割合が高い品目は、ピーマン(37.7%、宮崎県全国2位、鹿児島県全国3位)、トマト(28.3%、熊本県全国1位)、きゅうり(23.5%、宮崎県全国1位)、ばれいしょ(23.3%、鹿児島県全国2位、長崎県全国3位)の順となっています。指定野菜以外では、いちご(37.4%、福岡県全国2位、熊本県全国3位、長崎県全国4位)、かんしょ(27.3%、鹿児島県全国3位、宮崎県全国5位)、すいか(23.8%、熊本県全国1位)などです。

*指定野菜とは、野菜のうち特に消費量の多いもの(下右のグラフの14品目)

令和2(2020)年
指定野菜収穫量の全国シェア及び九州内割合



令和2(2020)年
九州の指定野菜産出額の全国シェア

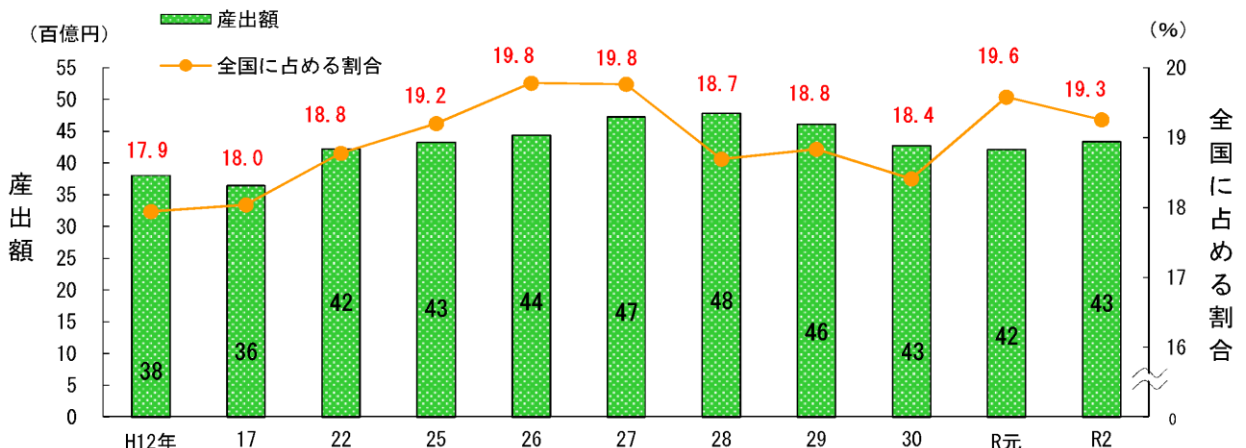


資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

注：野菜生産出荷統計結果を基に九州農政局において主産県を集計した値

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

九州の野菜の産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」